

製造販売業者

株式会社 **ニコン**

〒244-0843 東京都港区港南2-15-3(品川インターシティC棟)

<https://www.jp.nikon.com/>



販売業者

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

〒140-0015 東京都品川区西大井1-6-3

[https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja\\_JP/](https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP/)

(株)ニコンは、  
環境マネジメント ISO 14001 の認証取得企業です。

2CE-MQER-1

ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術（ソフトウェアを含む）は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等（技術を含む）に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。

・販売名：デジタルイメージングマイクロスコープ Ui  
・届出番号：14B2X10066000001



DIGITAL IMAGING MICROSCOPE

**ECLIPSE Ui**

# DIGITALIZATION AS REAL SOLUTION

モニターが映し出す、  
いま求められるソリューション

標本画像をライブでモニター表示。

ECLIPSE Uiは、観察対象をライブでモニター表示、日常の画像診断のワークフロー改善に貢献する新たな  
カテゴリのデジタル医療機器です。

## VIEW

画質と操作のしやすさを追求した  
モニター表示

標本画像をリアルタイムでモニター表示。画質にはニコンの映像技術  
で培った色再現性を追求し、環境光を取り込まないデザインを採用し  
ました。また、接眼を覗かずに観察できるため、疲労軽減に貢献します。

## SPEEDY

ワークフローの迅速化にむけた  
即時性

標本セットから2.5秒で、デジタル標本画像のライブ観察が可能。  
倍率切り替えやXY移動などの操作もスピーディで、マクロ表示も  
備えています。

## USABILITY

業務の効率化を図る  
ユーザビリティ

必要な機能を、わかりやすくシンプルに表示したGUI(グラフィカル・  
ユーザー・インターフェース)を採用。マクロ画像からの直感的なXY  
ステージ移動も可能。画像観察の効率性向上に配慮し、診断業務を  
サポートします。

## DAILY SUPPORT

用途に応じた各種機能

「病理診断」「研究・教育\*」「遠隔地との画像共有\*」のそれぞれに  
適した3つのモードを装備。また、画質・フレームレート選択や検体  
管理用のバーコード連携などのサポート機能も備えています。

\* 医療用途にはお使いいただけません



DIGITAL IMAGING MICROSCOPE  
ECLIPSE Ui

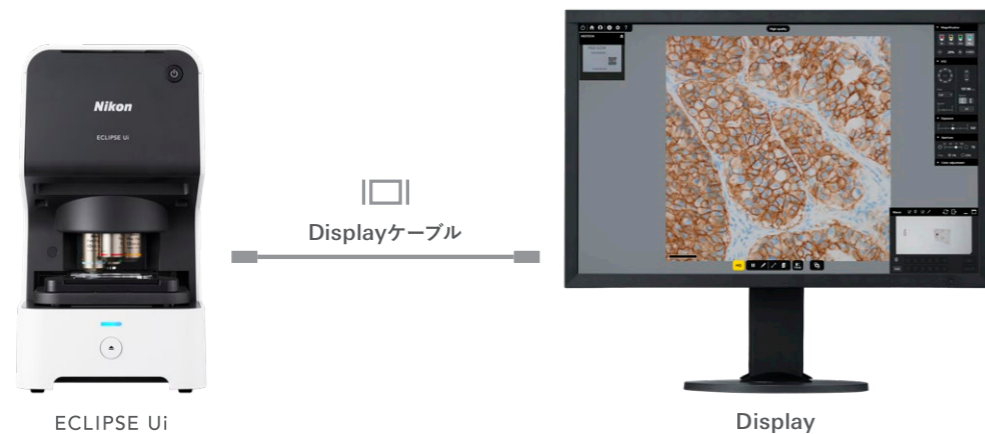


# VIEW

画質と操作のしやすさを追求したモニター表示

## 1 病理診断のデジタル化を推奨する新しい医療機器

本体に内蔵されたPCボードに必要な機能やシステムを搭載。スタンドアロンで使用でき、高解像な病理標本画像や、そのマクロ画像などをモニター上に映します。



## 2 画像をモニター表示。見やすさをサポート

標本画像をモニターで表示。接眼レンズをのぞく姿勢から解放されます。また、ディスプレイにより画像が共有できるため、複数メンバーでのディスカッションにも適しています。



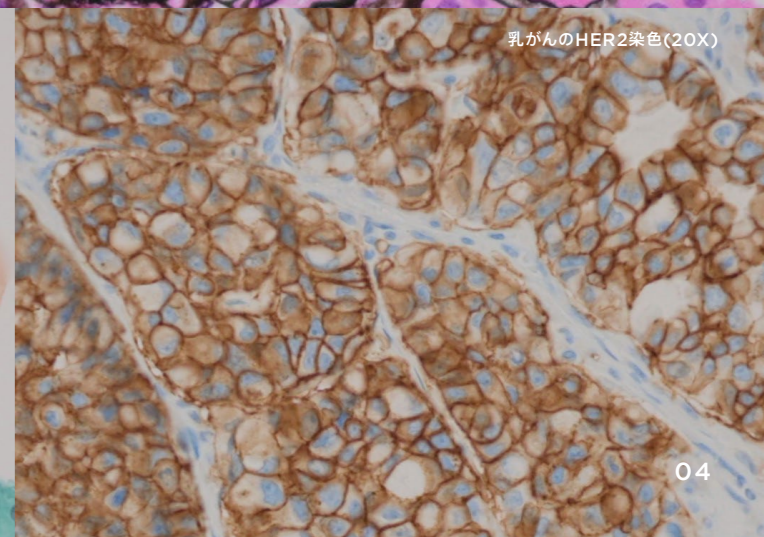
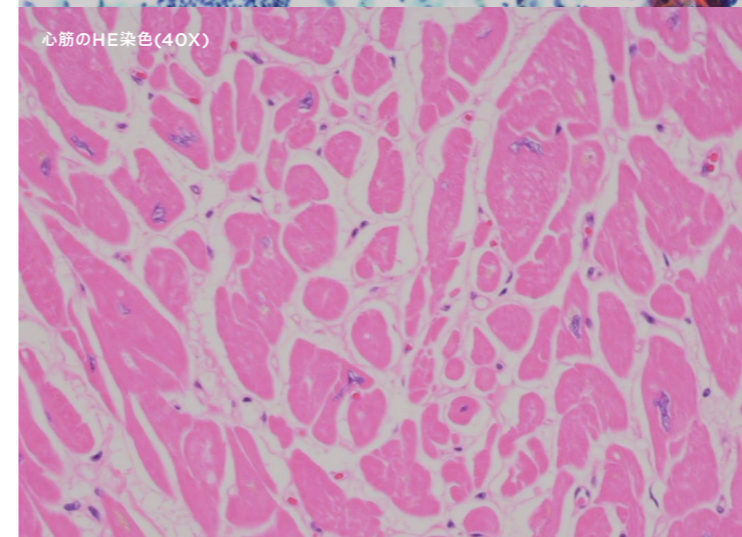
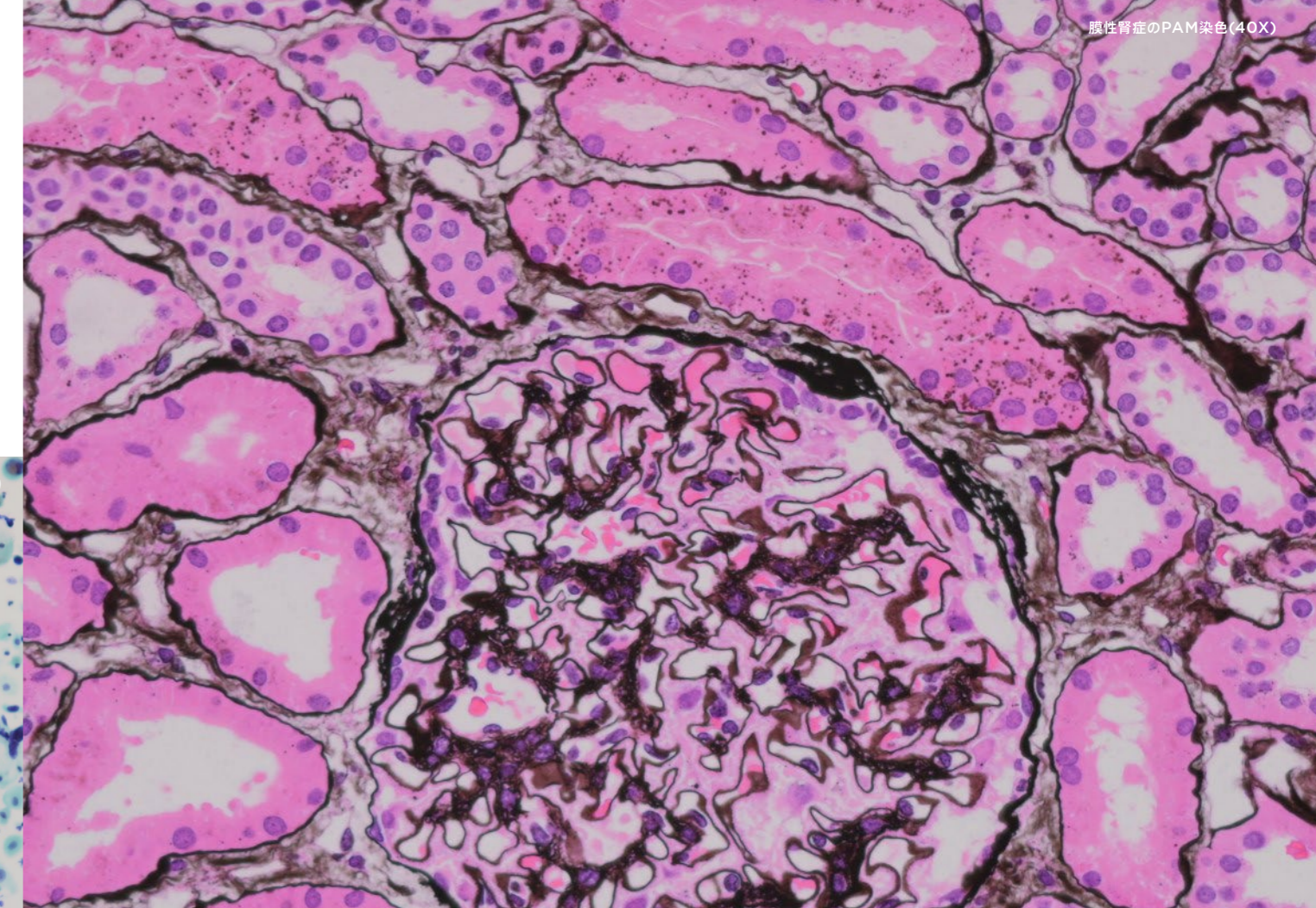
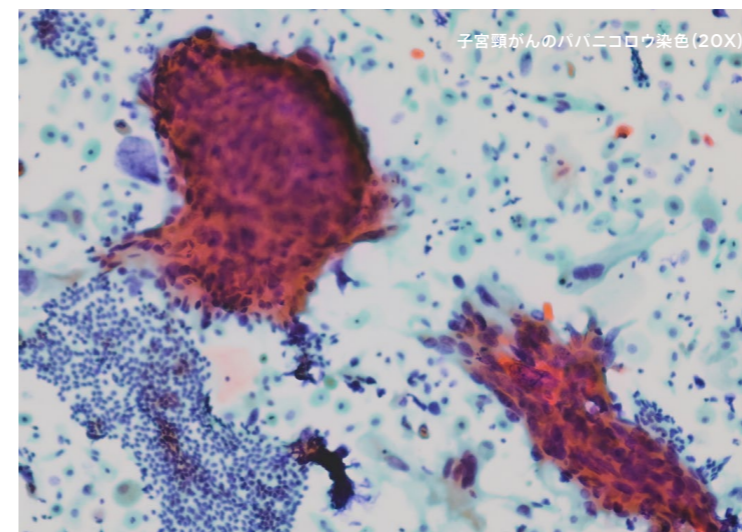
## 3 Nikon顕微鏡の伝統の光学技術を継承

対物レンズには、Nikon顕微鏡の伝統の光学技術を継承したCFI Plan Fluorシリーズを採用。透過性、開口数(解像度)のいずれも高水準を誇ります。



## 4 ニコンの技術が生きた画質。

観察しやすい画質を追求。残像の低減をめざし、色再現性にはニコンが培った映像技術を応用しました。明るさや色調は見やすさに応じて調整可能です。



# SPEEDY

ワークフローの迅速化にむけた即時性

## 1 病理医の操作性を追求

プレパラート標本を片手でセッティングでき、倍率切り替え・XY移動・ピント合わせは画面上で操作可能。操作の効率化を考えました。

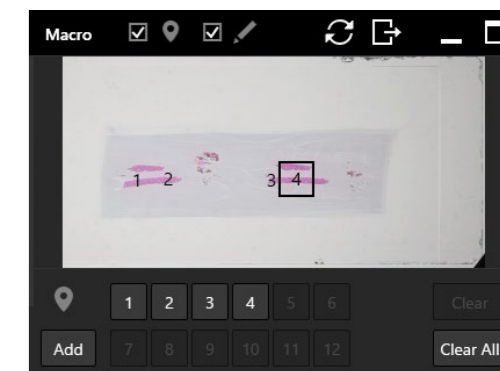


## 2 標本セットから2.5秒で観察が可能

標本はボタン一つでロードされ、2.5秒でモニターに映し出されます。

## 3 標本全体を俯瞰できるマクロ表示機能

標本ロード時にマクロ画像を撮影し、マクロ画像を観察対象部位と同時に画面上に表示。ステージの位置は常にマクロ画像内に表示されます。全体像を俯瞰して気になる部位を把握し、その場でマーキングできるほか、登録した観察地点へワンクリックで移動できます。また、表示されたマクロ画像は保存が可能です。



## 4 多様なサポート機能

立体的な観察・記録や連続観察への利便性などにも対応する機能を備えています。

### ● Zスタック機能\*

厚みや起伏がある、あるいは観察対象がZ方向へ分散するなどの標本も、観察や画像記録が可能なZ-stack機能を搭載しています。

\* 診断目的での使用はできません

### ● Repeat動作

連続観察での利便性を考え、一定速度でステージが移動するステップ動作の機能を装備。残像を抑えるように開発され、6段階の速度設定でスピーディーに視野移動ができます。

STEP  
01

システム起動

STEP  
02

標本セット

STEP  
03

標本全体像確認

STEP  
04

ライブ観察・診断

STEP  
05

観察終了

STEP  
06

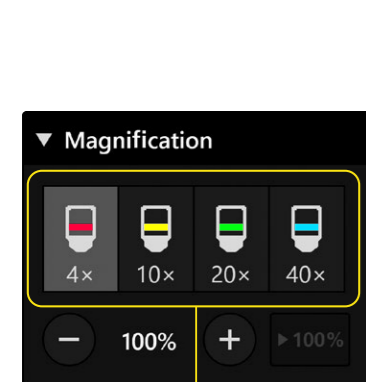
システム終了

# USABILITY

業務の効率化を図るユーザビリティ

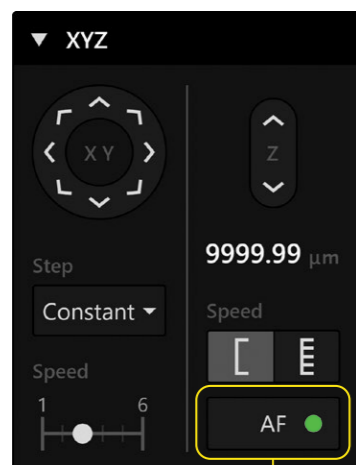
一目でわかりやすいGUI (グラフィカル・ユーザー・インターフェース) を採用し、診断業務の効率化をサポート。

必要な機能を、わかりやすくシンプルに表示したGUI (グラフィカル・ユーザー・インターフェース) を採用。マクロ画像を見ながら直感的な操作でXYステージ移動も可能。画像観察の効率性向上に配慮し、診断業務をサポートします。



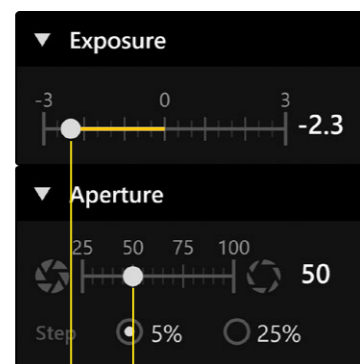
ボタン一つで  
倍率切り替え

デジタルズームにも対応



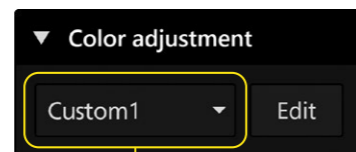
ボタン一つで  
ピント合わせ

オートフォーカス機能を搭載。操作パネル内のボタンやマウスホイールから手動でのピント調整も可能です。



スライダーで  
明るさ調整

操作パネル内のスライダーを左右にスライドさせることで光量や絞り値を調整できます。



色味調整

お好みに合わせて、色調やコントラストを変更できます。



マーキングモード\*

画像にマーキングを施したり、2点間距離の測長などが可能です。

\* 診断目的での使用はできません



# DAILY SUPPORT

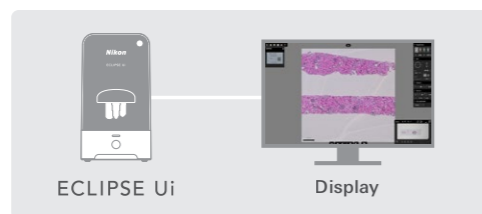
画像の用途、検体管理に 応じた機能

## 1 用途に応じたモード選択

### Routine

#### 病理診断

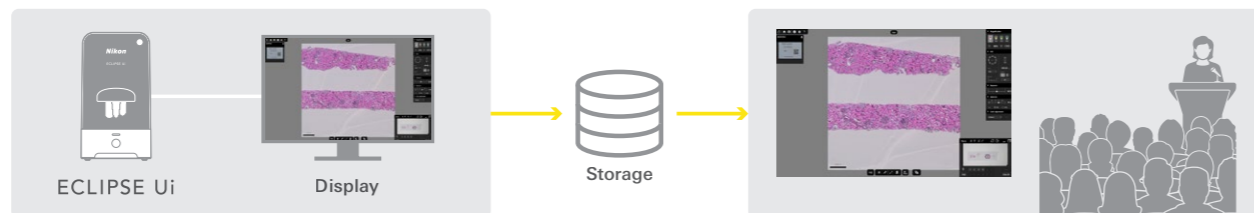
ライブでモニター表示された標本画像により、日常の病理診断や連続観察による細胞診をサポートするモードです。



### Research

#### 研究・教育\*1

共有・討議したいデータ(標本画像や観察地点情報など)を外部ストレージ\*2に保存します。研究や教育にご活用いただけます。



### Remote

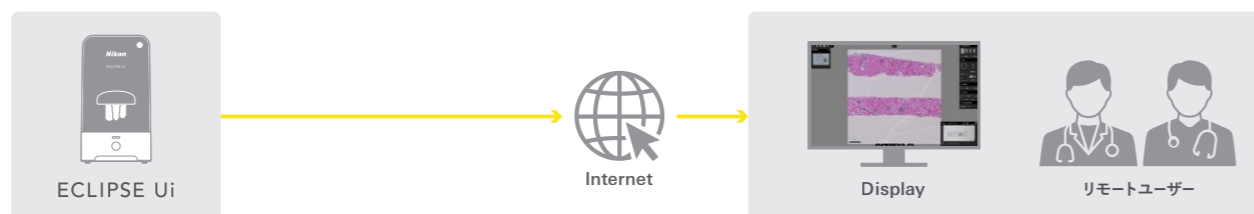
#### 遠隔地からの操作\*1

遠隔地の病理医(リモートユーザー)がUiをリアルタイムに操作できるモードです。また、リモートユーザーは画像をリアルタイムに観察することも可能です\*3。

\*1 診断目的での使用はできません

\*2 別売

\*3 Remoteモードのご使用には別途契約が必要です。また、通信環境については弊社担当にお問い合わせください



## 2 こだわりの形状デザイン

省スペース化に配慮したコンパクトなボディ(H:422mm×W:233mm×D:427mm)。環境光を取り込まない設計で手軽に設置できます。

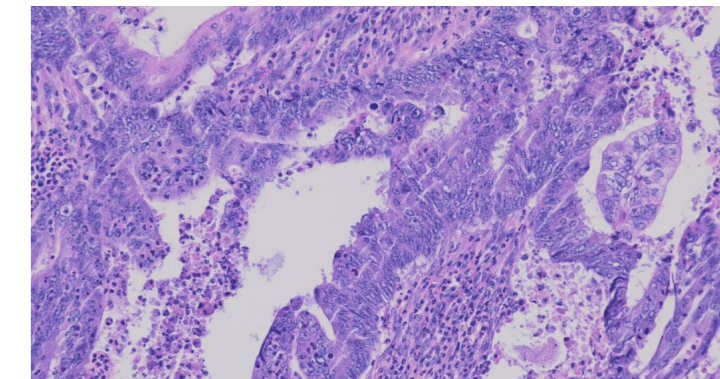


## 3 画質・フレームレート選択

画像出力は、即時の観察・診断用のLIVEと、保存などに向け画質を重視したHigh-qualityの2種類の画質が選択できます。

**LIVE**  
(観察用モード)  
1080×1080 30fps以上

**High-quality**  
(キャプチャ用モード)  
3712×3712 1fps以上



3712×3712 1fps 以上

## 4 検体管理の効率化を図るバーコード連携

バーコードや二次元コード(QRコード)の読み込みに対応。取り違え防止に向けて、検体番号などの表示ができます。

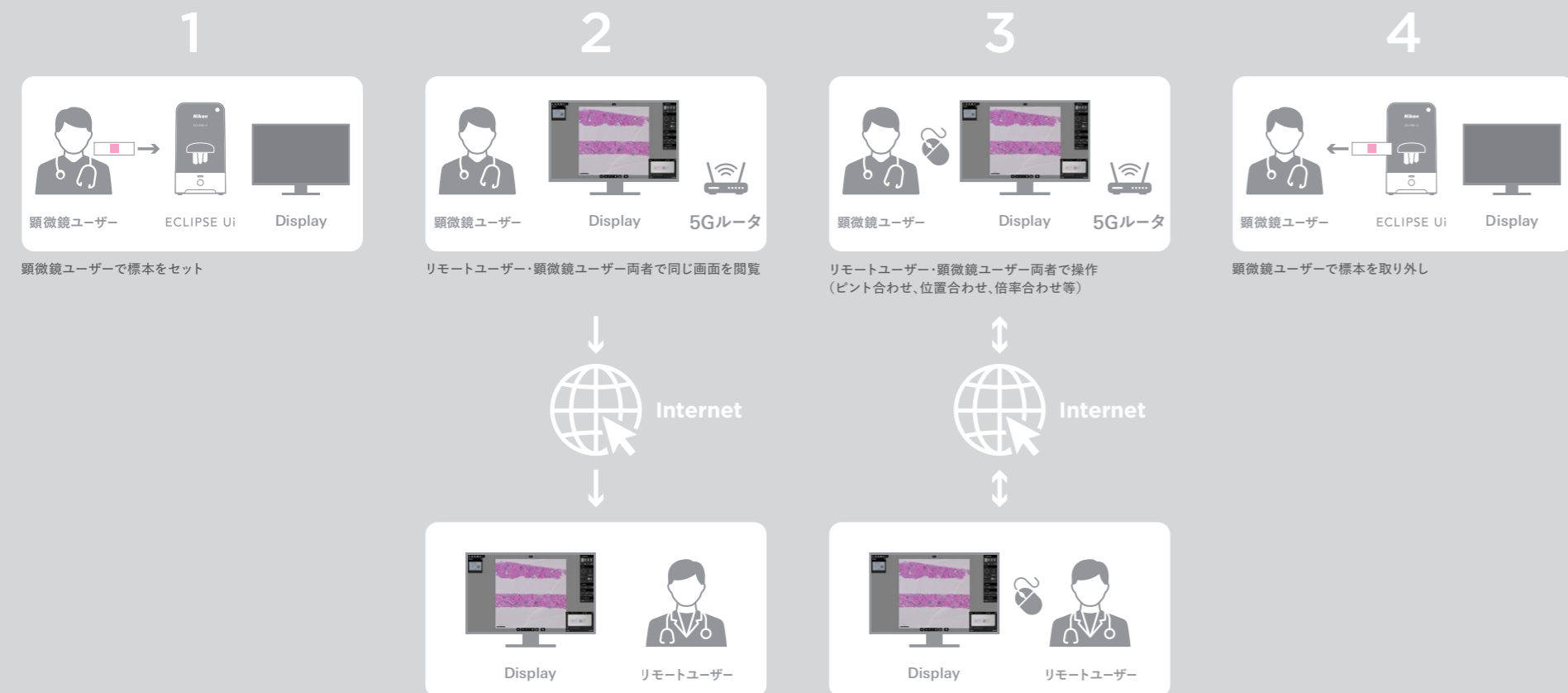


# NETWORK ACCESS ネットワーク 対応のデジタル医療機器

## 1 遠隔アクセスによるデータ共有をサポート\*

遠隔地のユーザー（リモートユーザー）による顕微鏡画像の確認と操作が可能。より広く情報の共有化を図り、またデータ供覧のしやすさにも寄与することで、診断の即時性と精度の向上をサポートします。

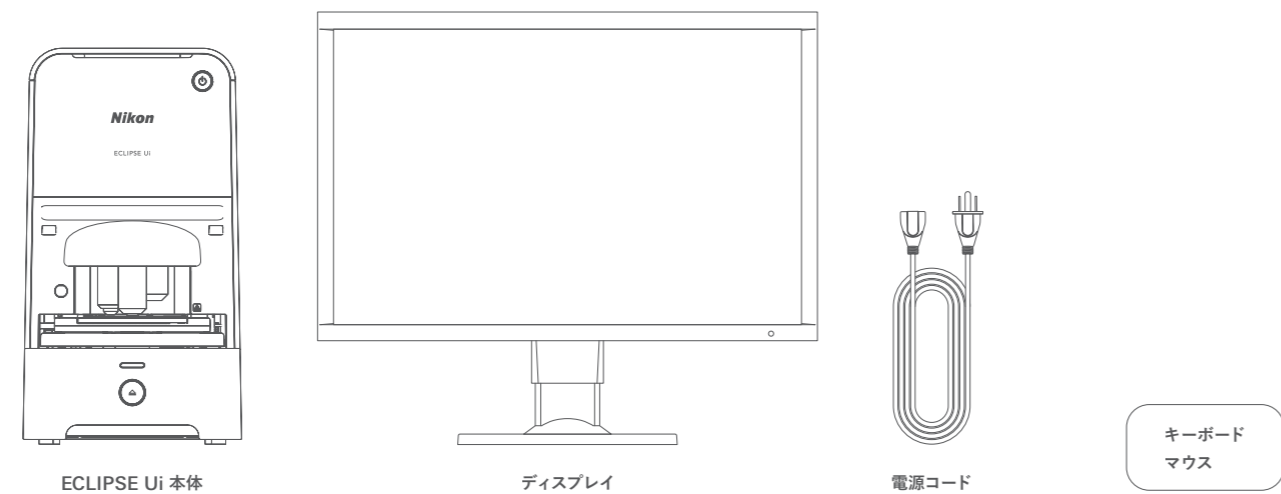
\*診断目的での使用はできません \*本機能は、利用者登録が必要です \*通信環境については弊社担当にお問い合わせください



# SPECIFICATIONS

## システム ダイアグラムと仕様表

### DIAGRAM ダイアグラム



### SPEC スペック表

型名	ECLIPSE Ui JP
観察法	明視野透過観察
観察可能な標本	プレパラート1枚 厚さ0.9～1.7mm <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドガラス (ISO8037 準拠) 厚さ: 0.9～1.2mm 寸法: 76mm×26mm</li> <li>カバーガラス (ISO8255 準拠) 厚さ: 0.17mm 寸法: 18～60mm×18～25mm</li> </ul> ※上記以外のスライドガラスおよびカバーガラスは使用しないでください。
観察可能範囲	マクロ画像: プレパラート全面 (76mm×26mm以上) ミクロ画像: カバーガラス全面 (60mm×25mm以上)
光学系	光源: 高輝度白色LED 視野数: 22 対物レンズ: CFI Plan Fluor 4X, CFI Plan Fluor 10X, CFI Plan Fluor 20X, CFI Plan Fluor 40X
電動駆動部	対物倍率切替え、ステージ移動 (標本ローディング含む)、対物上下動、開口絞り、標本ホルダーツメ開閉、マクロ・ミクロ観察系切替え
対物上下動部	対物レンズ上下動方式 ストローク: 10.3mm 焦準速度 (最高速度): 0.7mm/s以上
ステージ	ストローク: X: 78mm, Y: 28mm 移動速度 (最高速度): X: 85mm/s以上, Y: 78mm/s以上
開口絞り部	絞り径: Ø1.2mm～Ø28.1mm 25%～100%
対応読み込み標本バーコード	2次元バーコード: QRコード、DataMatrixコード 1次元バーコード: CODE-128
ミクロ画像	XYステージ動作: Half、Full、Repeat (Repeatは対物レンズごとに1～6段階選択) 表示切替え: Live: 1080×1080 30fps以上 High-quality: 3712×3712 1fps以上

フォーカス	コントラストAF、マニュアルフォーカス
露出補正	-2～+2EV
色味調整	Contrast、Brightness、Saturation、Hue
地点登録*	12箇所まで可能
マーキングモード*	点の描画最大個数: 499個 点描画のサイズ: 8px、16px、32pxから選択可能
計測モード*	2地点間を線分と長さのスケール表示
撮影*	マクロ静止画撮影: 1330×460 ミクロ静止画撮影: Live: 1080×1080 High-quality: 3712×3712 Zスタック撮影: 撮影枚数: 1～21 撮影間隔: 0.5～5μm 設定間隔: 0.5μm 観察像: マクロ (観察対象標本全体像)、ミクロ (顕微鏡像)
画像保存形式*	JPEG
動画撮影*	ファイル形式: MP4 撮影時間: 最大10分 圧縮方式: MPEG-4 Video フレームレート: 10fps 解像度: 1080×1080
遠隔操作*	映像中継: AWS、WebRTC
外部インターフェース	LAN: GbE 1000Mbps (2ポート) USB: USB2.0 ケーブル TypeA 480Mbps (2ポート) Mini Display port 推奨モニター解像度 1920×1200
OS	Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2019
本体定格	入力定格: AC100-240V±10%、50/60Hz 最大消費電力: 170W
電源コード	PSEマーク付きの脱着可能な3芯の電源コードセット (3 conductor grounding Type VCTF 3x0.75mm <sup>2</sup> , 3m long maximum, rated at 125VAC minimum)

\* 医療用途にはお使いいただけません

### DIMENSIONS 寸法表

